

フ ラ ッ シ ュ

Part 1

2.26 食べて遊んで雪国を満喫 朝日 月山あさひ雪まつり



いろいろな雪遊びと雪国の伝統文化を体験できる「月山あさひ雪まつり」が「雪・食・体験」をテーマに開催されました。

朝日地域全体を会場としたバスツアー「月山あさひ道草ツアー・冬編」では、生きている熊・クロちゃんを見学。雪回廊見学や雪原散歩等を楽しみ、豪雪地帯の冬を満喫しました。



また、主会場の道の駅「月山」では、「地産地消アイスクリームまつり」をはじめ、親子で楽しめるイベントがたくさん催されました。「雪んこちゃんに大変身」では、子供たちがみのぼつしなど雪国衣装を身に付け、かわいらしい姿に変身。プロカメラマンの写真撮影に緊張の面持ちでいる様子を保護者はほほえましく眺めていました。

目玉は全長約40mある雪の滑り台です。子供たちは一気に滑り降り歓声を上げながら、何回も繰り返し挑戦していました。たっぷり遊んだ後は、「朝日のつめもの市」でお腹を満たします。キジ汁やウサギ汁などが販売され、めったに食べることのできない味に参加者は大満足の様子でした。

2.25 にごりもいいし、しほりもいい 温海 あつみ温泉 摩耶山新酒まつり



温海地域限定で販売されている日本酒「摩耶山」は、越沢地区で県指定名勝摩耶山の湧水を使い栽培した「はえぬき」を原料に醸造されたもので、地元はもとより同地域のお土産品として観光客にも人気の逸品です。

その「摩耶山」をPRして地域の活性化につなげようと、あつみ温泉の地域づくり団体「温海ブランド創生会」の若手メンバーが中心となって実行委員会を組織し、初めて開催したこの新酒まつり。会場にあつみ温泉朝市広場は多くの日本酒ファンでにぎわいました。



この日は数量限定販売の「しほりたて原酒」と「にごり酒」が好みなだけ飲めるとあって、試飲コーナーには多くの来場者がありました。また、関川地区の郷土料理「べろべろ餅鍋」や鼠ヶ関港直送の海産物などの販売もあり、大勢の人が温海地域の美味をつまみに美酒を味わい、笑顔の輪が会場に広がっていました。

ほろ酔い気分の参加者は「にごり酒は口当たりがいくでんめし、えつべ飲むにはさっぱりしたしほりたてがいいぞ」と楽しそうに飲み比べていました。

声 Voice

市役所への意見や質問、広報を読んだ感想などをお寄せください。
送り先 総務課広報広聴係

Q こみの分別について

桃色のこみ袋にビデオテープのプラスチックケースを入れて出したら回収してもらえませんでした。「**②**」マーク(ポリプロピレンのリサイクルマーク)を見てきちんと分別したのに、なぜ回収されなかったのでしょうか。

A プラスチック製品が全て桃色のこみ袋とは限りません

日頃からこみの分別にご協力いただきありがとうございます。

回収されなかった「ビデオテープのプラスチックケース」は、本市では桃色袋に分別する「**②**」マークのついている**「容器包装類」**ではなく、茶色袋に分別する「**もやすこみ**」に該当します。

ここで言う「容器包装類」とは、「商品を入れたり包んだりしていたもので、中身の商品を取り出した後に直ちに不要となるもの」を指します。ビデオテープやCD類

ま ち か ど

3.10 目で見て、舌で味わう自然の恵み 鶴岡 シェフと子どもたち～水族館を食べよう！～



子供たちに地元産品のすばらしさや「食」の重要性、地域文化の大切さなどを伝えようと、鶴岡食文化創造都市推進協議会と本市が初めて企画したこの催しに、小学生とその保護者三十人が参加しました。

この日の会場は庄内浜の恵みを体験できる加茂水族館。採り上げる食材は県の魚でもある「サクラマス」です。参加者は村上龍男館長の解説を聞きながら、庄内浜に生息する魚や生物を見学しました。中にはサクラマスを見つけ、「いたいた」とおでこを水槽にびっ



たりとくつつける子供も。サクラマスの生態等の解説では、「豊かな自然があるから元気なサクラマスが育つんだよ」と教わりました。続いて庄内浜文化伝道師マイスター・石塚亮氏の調理を見学し、サクラマスを舌で味わいます。三枚にさばかれた、きれいなピンク色のサクラマスを見て、子供たちは早く食べたくて仕方がない様子ですが、お母さんたちはその調理方法に興味津々です。白扇揚げ等の料理を家族みんなで味わい、会場は「おいしい」の声と笑顔であふれました。

3.3 ブラボー 藤島 明治ホール「若い芽のコンサート」



庄内地域で活躍する小学生から高校生までのフレッシュな音楽家たちが日頃の活動の成果を発表し、出演者も来場者も存分に楽しんでもらいたいと開催されたこのコンサート。昨年に開催を予定していましたが、東日本大震災のため中止されました。この日は、会場の明治ホールが満席になるほどの来場者がありました。

「藤島少年少女合唱団」の声楽アンサンブルからプログラムはスタート。前半の小・中学生の部は、「ジュニアギターアンサンブル」の演奏や、奏者の個性が引



き立つピアノの独奏、見事なハーモニーを披露した鶴岡五中の声楽アンサンブルなどがあり、聴衆は子供たちの一生懸命な発表に聞き入っていました。

後半の高校生の部では、オーボエやフルート等多種にわたる楽器の演奏のほか、独唱も披露されました。最後の奏者二人は息のあった迫力のあるピアノ連弾を演奏し、会場は拍手喝采を送っていました。

すばらしいステージを披露してくれた音楽家たち。今後の活躍がますます期待されます。

のケースは、中身のビデオテープ等と一緒に保管し、本体を保護する目的のものです。容器包装リサイクル法では、こういったケースを「容器包装類」ではなく、「本体の付属品」に分類しています。

このほか、「㊦」マークのついていないもので桃色袋に入れないものの例として、次のものがあります。

クリーニングのハンガー・袋
歯ブラシ 乾燥剤・保冷剤
ストロー・スプーン(これらが入っていた袋は桃色袋の対象品)
ビニールひも

また、「㊦」マークのついていない容器包装類でも、マヨネーズ等のチューブ類など汚れを落とすことが難しいものや、分別に迷ったものは茶色袋に入れてください。

四月は引越しの季節です。それに伴い、多種多様なごみが発生します。ごみの分別について、詳しくは「生活系ごみの分け方・出し方」に掲載しています。しかしながら、紙面に限りもあり、廃棄物一つひとつの細かな分類までは記載しきれません。

「ご不明な点がありましたら、廃棄物対策課 ☎25 21111 内線 677へお問い合せください。」

廃棄物対策課
(環境部施設課リサイクル推進課が統合し、四月に課名が変わりました)

2.19

すんげー
かつこい

PONGI JAM 2012

温海

ジャンプの高さや技の難度・完成度を競うスノーボードの大会が、あつみ温泉一本木スキー場で開催されました。初の開催となったこの大会に、庄内地方をはじめ内陸地方や秋田県など県内外から二十四人が参加し、日頃の練習成果を披露。軽快な音楽のリズムにのって華麗なジャンプを決めるたびに、観客から大きな歓声と驚嘆の声が上がっていました。



2.26

雪上の競技に
熱い声援

大網地区冬期運動会

朝日



運動不足になりがちな冬季の健康増進と地元住民の親睦を目的に、朝日地域三地区で開催されている冬期雪上運動会。この日、大網地区の大会では、大網小学校グラウンドを会場に約二百人が参加しました。「かんじき競争」や「雪積み競争」など雪を使った独特の競技で熱戦が繰り広げられ、参加者は声援を送り合い、交流を深めていました。

3.2

有機JASマークは
安全の証し

有機農産物生産行程管理者等講習会

藤島



有機JAS規格による格付検査に合格した農産物に有機JASマークを貼付し、出荷できる制度の講習会が藤島エコタウンセンターで開催されました。参加した本市の有機農産物認定制度を支える生産者らは、膨大な資料を読みながらJAS規格改正等について説明を受け、今年も安全・安心な農産物を生産するため、春作業の開始に備えていました。

3.2

今日は楽しい
ひな祭り

貴船保育園子育て支援センターひな祭り会

羽黒

園児がひな祭りに合わせて作ったお雛さまが、雛人形と一緒に同保育園に飾られ、ひな祭り会が行われました。園児の他に子育て支援センターを利用する親子も参加し、雛菓子とお茶を味わい、交流を深めました。この後、参加した親子が「今まで遊んでくれてありがとう」と感謝の気持ちを込めて、今年の春卒園を迎える園児へプレゼントを贈りました。



ま

ち

か

ど



フ

ラ

ツ

シ

ユ

3.3~4.8

色鮮やかな和紙の雛人形

あとりえ淑雅和紙人形展

榊引



王祇会館多目的ホールに並ぶ雛人形。実は和紙で作られています。これは和紙人形作家・櫻井淑さんの作品で、お雛様やお内裏様等の雛人形が雛壇に並び展示されています。和紙でできた美しい着物で着飾り、穏やかなほほ笑みをたたえた人形たち。人形展は四月八日(日)まで開催していますので、お雛様に会いに出かけてみてはいかがでしょうか。

3.4

里山の自然は地域の財産

庄自然博物館「自然再生フォーラム」

鶴岡

「鶴岡市自然学習交流館」開館に先立ち、高館山、大山上池・下池、都沢湿地の自然をどのように再生していくかを考えるフォーラムが出羽商工会大山支所で開催されました。基調講演を受け、出席者でグループ討論「『自然再生』とは何か、共通認識が大切」地元の人が積極的に関わることで地域も活性化する」と活発な意見交換がされました。



3.8

大事に使ってね

榊引西部児童館お別れ会

榊引

榊引西部児童館でお別れ会が行われました。四月から「くしびき西部保育園」に変わるため児童館としては最後のお別れ会。年中組の園児が卒園児へ手作りの鉛筆たてを贈ると、お礼に卒園児が在園児へ手作りのジャンボかるたを贈りました。「小学校に行っても頑張ってください」と在園児の応援を受け、卒園児十八人の小学校生活がもうすぐ始まります。



3.11

冬の景色もきれいだの

創造の森交流館 スキーでハイキング

羽黒



雲の間から太陽が顔を出したこの日、二十一人の参加者が、冬ごもり中の庄内映画村オープンセットをラングラウフスキーやスノーシューを履いて歩きました。普段は見ることでできない村内を建物の二階部分まで達した雪の上から見渡し、楽しくおしゃべりしたり写真を撮ったりして、爽やかな汗をかいていました。